



**2025年6月22日
6月第四主日礼拝式**

「主の御名(みな)を全地の上で」

(詩篇69:30)

主の御名を 全地の上で
あがめよう ほめたたえよう

心こめて 歌おう

心こめて 歌おう

81 主を待ち望む者は

主を待ち望む者は 新たに

力を受けて のぼる

走り疲れず 歩みてうまず

鷺のように のぼる

新聖歌414番 「主は力をわれに注ぎ」

- 1 主は力を われに注ぎ その救いを 成したまえり
恵みにより 日々たもたれ 愛の炎 心に燃ゆ
* 愛の炎 天降(あまくだ)りぬ 愛の炎 心に燃ゆ
御霊(みたま)来たる 神をほめよ 愛の炎 心に燃ゆ
- 2 主は代価(あたい)を すでに払い そのきよめに
入れたまえり わが献げし 供(そな)えものを
天(あま)つ炎 焼きつくせり * (くり返し)
- 3 贖(あがな)われて 子となりしは わざによらず
恵みによる その恵みを ほめたたえよ
愛の炎 心に燃ゆ * (くり返し) アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌486番 「雄雄しくあれ」

- 1 雄雄しくあれ 強くあれ 少年たちよ
神様は どこにでも共におられる われらを倒して
負かすものはない 雄雄しくあれ 強くあれ 強くあれ
- 2 雄雄しくあれ 強くあれ 少年たちよ
神様の み教えを 守りおこない 右にも曲がらず
左にもそれず ただ真っ直ぐ進むのだ 進むのだ
- 3 雄雄しくあれ 強くあれ 少年たちよ
神様の誓(ちか)われた 約束の地は
正しい信仰だ きよい行ないだ
行(ゆ)け これらを取るまでは 取るまでは アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン